

令和2年度 施策評価シート

まちづくりの目標	2	誰もが住みたい快適生活のまち	施策担当課 経営管理課 関係課 経営管理課 水道課
施策目標	5	【上水道】里山を守り、安全な水道水を安定して供給しよう	
施策の展開	① ② ③	・安全で安心できる水道水の安定供給 ・効率的な水道経営 ・市民サービスの向上	

1 施策の現状・推移

5年後のまちの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・水資源の重要性を共有し、里山の環境や景観が保全されています。 ・水道施設長寿命化計画、管路更新計画に基づき事業を推進し、水道施設や管路の耐震化が進み、災害に強いライフラインが構築されています。 ・老朽管の更新整備が進み、有収率の向上が図られています。 ・水道事業への市民の理解と関心が高まり、安全で安心できる水道水が市民に供給され、安定した水道経営のもと快適な市民生活を支えています。
----------	--

2 成果指標・コストの推移

		単位	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
成果指標	水道事業の有収率	%	目標	80.0	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	
			実績	77.0	78.8					
	経常収支比率	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
			実績	95.5	98.0					
				目標						
				実績						
コスト	人件費	千円	実績	169,832	158,199	158,199	158,199	158,199	158,199	
	事業費	千円	実績	2,488,539	2,683,472	2,582,740	2,582,740	2,582,740	2,582,740	
	計	千円	実績	2,658,371	2,841,671	2,740,939	2,740,939	2,740,939	2,740,939	
	うち一般財源	千円	実績	514,975	474,249	935,939	935,939	935,939	935,939	

※評価年度は実績、計画年度は予算

3 環境変化

国・県の方針、関連法令の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・給水人口や給水量は減少し続けており、水道の危機管理の在り方の抜本的見直し時期にあることから、水道の現状評価と課題整理について、安全「安全・安心な水の供給」、強靱「災害に強い水道の構築」、持続「事業運営基盤の強化」の観点から目指すべき方向性を見だし、将来の水道の理想像を具体的に提示し、関係者間で認識を共有する。 ・中長期的な経営計画である「経営戦略」に基づき、経営基盤の強化と財政マネジメントに取り組むとともに、地域の実情に応じた効率化等を図るため、各自治体において水道事業の広域化連携について検討がなされている。
市民ニーズの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な水道水の安定供給に加え、水道料金の動向(改定)についても関心は高い。

4 評価

目標の達成状況は順調か。達成していない原因は何か。	<ul style="list-style-type: none"> ・改良工事などの事業については、予定どおりに進捗している。 ・有収率は、漏水調査及び漏水修繕を積極的に行っているが、漏水箇所が増加により目標値に届いていない。今後も積極的に調査、修繕を行うとともに、管路更新計画に基づき計画的に老朽管の更新を行い、有収率の目標達成を目指す。
環境変化を踏まえた施策展開となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・水道施設の老朽化に伴う更新時期が多く到来するため、「丹波市水道施設長寿命化計画・管路更新計画」に基づき、計画的な更新を図り、水道事業の安定経営を目指す。
事業の構成や役割分担で見直しの余地がないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的には、老朽化による施設の更新が必要となってくるため、莫大な費用が発生する見込みである。 ・業務のアウトソーシング等は、既に民間委託を行っており当分の間現状で推移する。

5 今後の改革方向

施策の今後の方向性、構成する事務事業の見直し案	<ul style="list-style-type: none"> ・水道施設の老朽化に伴う大量更新時期の到来により、経営の健全化が一層求められている。「丹波市水道施設長寿命化計画・管路更新計画」に基づき、計画的に更新を図る。令和3年度に「経営戦略」を見直す。また積極的に漏水調査に努めることにより、有収率の向上を図り、経営の健全化を目指す。 ・経営面においては、引き続き厳しい状況であるため、コスト削減に取り組むとともに、収入確保に向けて一般会計との協議を図りながら、料金改定の時期など検討を図る必要がある。 ・経営管理課において事務内容を見直し、令和3年度より係を再編成(3係→2係)する。
-------------------------	---

丹波市総合計画 令和 2 年度事務事業評価 / 令和 3 年度実施計画

事務事業名	水道施設維持管理事業		
事業担当課	上下水道部 水道課	事業期間	平成 17 ~ 無期 年度
	所属長 畑 幸一	担当 須原 貞彦	担当

位置づけ	総合計画	まちづくり目標	【2】誰もが住みたい快適生活のまち
		施策目標	5【上水道】里山を守り、安全な水道水を安定して供給しよう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	
	根拠法令・個別計画等	水道法、水道法施行令、水道法施行規則、丹波市水道事業給水条例、丹波市水道事業給水条例施行規則	

計画 (PLAN)	対象(誰を、何を)	水道水を利用する市民		
	目的 ベストな状態 (期待される効果)	水道施設の適正な維持・管理により、安全・安心な水道水を安定的に供給する。		
	概要 (具体的手段・ 全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> 水道施設、導水施設の維持管理 浄水施設の維持管理 配水施設の維持管理 配水管・給水管施設の維持管理 		
	令和2年度の 事業概略	水道施設の適正な維持・管理及び点検の実施	令和3年度の 事業概略	水道施設の適正な維持・管理及び点検の実施

コスト(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考			
(評価年度は実績、計画年度は予算)											
歳出	総事業費 A+B	496,411	500,537	500,321	500,321	500,321	500,321				
	直接事業費A	432,843	430,216	430,000	430,000	430,000	430,000				
	総人件費計(E+H) B	63,568	70,321	70,321	70,321	70,321	70,321				
	職員従事者数(人・年) C	8.32	9.11	9.11	9.11	9.11	9.11				
	【平均人件費】D	7,400	7,460	7,460	7,460	7,460	7,460				
	人件費 E=C×D	61,568	67,961	67,961	67,961	67,961	67,961				
	会計年度任用職員従事者数(人・年) F	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00				
	【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,360	2,360	2,360				
人件費 H=F×G	2,000	2,360	2,360	2,360	2,360	2,360					
歳入	特定財源	0	0	0	0	0	0				
	国・県支出金	0	0	0	0	0	0				
	借入金(地方債)	0	0	0	0	0	0				
	受益者負担金	0	0	0	0	0	0				
	その他特財	0	0	0	0	0	0				
一般財源	496,411	500,537	500,321	500,321	500,321	500,321					
実施 (DO)	指標名	単位	目標 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考	
	成果	有収水量の1㎡当りの 動力費・薬品費	円	目標	23.8	23.8	23.8	23.8	23.8	23.8	
				実績	23.0	21.6					
				目標							
				実績							
				目標							
				実績							
	コスト			目標							
				実績							
	コスト			目標							
実績											
指標の推移等の背景・分析		各年度の実績を比較しても大きな変化はなく推移している。									

事務事業名	水道施設維持管理事業		
事業担当課	上下水道部 水道課	事業期間	平成 17 ~ 無期 年度

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について						
評価 (CHECK)	評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
	(必要性) 市民にとって必要な事業か。		A	安全・安心な水道水の供給は、重要かつ必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	A
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価		A	施設の維持管理を適切に行い、良好な維持管理に努めている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革 (ACTION)	総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）																																			
		<p>長寿命化計画に基づき、経年老朽化している施設を計画的に改修していく必要がある。また市内には153箇所の施設があり、故障等も多発していることから、定期的な整備を行うことにより機器の長寿命化を図る必要がある。また施設の改修等により動力費を抑えていく必要もある。</p>																																		
	<p>今後の方向性・改善策等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配給水管路については、効率的な漏水調査を実施し、漏水を早期に発見して修繕を行い、有収率の向上に努める。 ・施設の機器類の維持管理については、機器の状態を常時監視して定期的なメンテナンスを実施し、老朽化した機器類の交換及び修繕を行うことで動力費の抑制及び長寿命化を図っていく。 	<p>成果・コストの方向性</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>成果の方向性</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td>✓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>					皆減	縮小	現状維持	拡大	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td>✓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充					現状維持			✓		縮小					休廃止					コスト投入の方向性			
	皆減	縮小	現状維持	拡大																																
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td>✓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充					現状維持			✓		縮小					休廃止					コスト投入の方向性														
拡充																																				
現状維持			✓																																	
縮小																																				
休廃止																																				

●構成する予算小事業一覧

(単位：千円)

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	水道施設維持管理事業	430,216	430,000	430,000	430,000	430,000	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
合計		430,216	430,000	430,000	430,000	430,000	

丹波市総合計画 令和 2 年度事務事業評価 / 令和 3 年度実施計画

事務事業名	水道施設改良事業		
事業担当課	上下水道部 水道課	事業期間	平成 20 ~ 無期 年度
	所属長 畑 幸一	担当 森津 和之	担当 須原 貞彦

位置づけ	総合計画	まちづくり目標	【2】誰もが住みたい快適生活のまち
		施策目標	5【上水道】里山を守り、安全な水道水を安定して供給しよう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	
	根拠法令・個別計画等	水道法、水道法施行令、水道法施行規則、丹波市水道事業給水条例、丹波市水道事業給水条例施行規則	

計画 (PLAN)	対象(誰を、何を)	市民、水道水使用者	
	目的 ベストな状態 (期待される効果)	有収率の向上を図り、水道水を有効利用するとともに、安全・安心な水道水の安定供給に努める。	
	概要 (具体的手段・ 全体計画)	経年劣化した機器や耐用年数を超過した老朽管を計画的に更新し、断水や濁水の発生等の事故防止に努める。	
	令和2年度の 事業概略	水道施設長寿命化及び管路更新計画の進捗確認	令和3年度の 事業概略

コスト(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考			
(評価年度は実績、計画年度は予算)											
歳出	総事業費 A+B	685,804	926,319	743,939	743,939	743,939	743,939				
	直接事業費A	643,772	882,380	700,000	700,000	700,000	700,000				
	総人件費計(E+H) B	42,032	43,939	43,939	43,939	43,939	43,939				
	職員従事者数(人・年) C	5.68	5.89	5.89	5.89	5.89	5.89				
	【平均人件費】D	7,400	7,460	7,460	7,460	7,460	7,460				
	人件費 E=C×D	42,032	43,939	43,939	43,939	43,939	43,939				
	会計年度任用職員従事者数(人・年) F	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,360	2,360	2,360				
人件費 H=F×G	0	0	0	0	0	0					
歳入	特定財源	255,266	490,504	0	0	0	0				
	国・県支出金	0	0	0	0	0	0				
	借入金(地方債)	249,000	478,500	0	0	0	0				
	受益者負担金	0	0	0	0	0	0				
	その他特財	6,266	12,004	0	0	0	0				
一般財源	430,538	435,815	743,939	743,939	743,939	743,939					
実施 (DO)	指標名	単位	目標 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考	
	成果	水道事業の有収率	%	目標	85.0	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	
			実績	77.0	78.8						
	活動	ポンプ更新台数	台	目標	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	
			実績	9.0	8.0						
	活動	水位計・流量計更新箇所	箇所	目標	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	
			実績	0.0	5.0						
	活動	管路更新距離	m	目標	6,500.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0	
			実績	7,336.0	9,168.0						
	コスト			目標							
実績											
コスト			目標								
		実績									
指標の推移等の背景・分析		管路の更新については、経年劣化による老朽化また漏水が多発している路線を優先的に更新することで、有収率の向上を図り、ポンプなど水道施設においては、適切な運転管理や点検に加え、適切な時期に補修・改修を施すことで長寿命化を図っているが、有収率が伸び悩んでいる現状であるため、更なる管路更新が必要である。									

事務事業名	水道施設改良事業		
事業担当課	上下水道部 水道課	事業期間	平成 20 ~ 無期 年度

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について						
評価 (CHECK)	評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
		(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	市民生活において、安全・安心な水道水を安定供給するために必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	A
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価		B	安全・安心な水道水を供給していくためには、老朽化した施設の更新が必要であり、計画的に更新を進めている。また有収率については、管路の更新により新しくなった管路に対して、耐用年数を超えている管路が多く、老朽化による漏水が多発しているため有収率の向上につながっていない。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）	
改革 (ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> 有収率の向上を目的として、積極的に漏水調査や漏水修理を行っている。 本市が保有する水道管路890kmのうち、法定耐用年数である40年を経過した管路が令和元年度末で約28%となっており、老朽管の更新による有収率の向上が必要である。しかし、老朽管の更新に投資できる費用にも限りがあり、それぞれの管路の状況を把握し、効率的な投資と費用の平準化を意識しながら、計画的に事業を実施する必要がある。 老朽化した浄水場等の施設もあり、従来の事後保全型管理から予防保全型管理へと転換することで、費用を抑えつつ、施設の長寿命化を図っていくことが重要である。
	<p>今後の方向性・改善策等</p> <p>「管路管更新計画」や「水道施設長寿命化計画」に基づき、有収率向上に効果が大きい路線及び漏水多発路線を優先的に更新するとともに、水道施設の整備・更新も計画的に実施し経費を抑える。</p> <p>有収率の向上のためには、引き続き積極的な漏水調査が必要であるが、従来の音聴調査方式のみでなく、新たな手法の調査研究を行い、漏水箇所の早期発見による予防修繕を行っていく。</p>

		成果・コストの方向性			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
成果の方向性	拡充				
	現状維持			✓	
	縮小				
	休廃止				

コスト投入の方向性

●構成する予算小事業一覧

(単位：千円)

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	水道施設改良事業	882,380	700,000	700,000	700,000	700,000	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
合計		882,380	700,000	700,000	700,000	700,000	

丹波市総合計画 令和 2 年度事務事業評価 / 令和 3 年度実施計画

事務事業名	水道経営事業		
事業担当課	上下水道部 経営管理課	事業期間	平成 16 ~ 無期 年度
	所属長 荒木 敏明	担当 安達 知史、間島 智恵	担当 藤田 由美子、北野 雄太

位置づけ	総合計画	まちづくり目標	【2】誰もが住みたい快適生活のまち
		施策目標	5【上水道】里山を守り、安全な水道水を安定して供給しよう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	
	根拠法令・個別計画等	地方公営企業法、丹波市水道事業給水条例・給水条例施行規程、丹波市上下水道事業会計規程等	

計画 (PLAN)	対象(誰を、何を)	上水道を利用する市民	
	目的 ベストな状態 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> 安全で安心な水道水の安定供給や配水区域の変更に伴い、災害に強い水道の構築を図り、運営コストの削減に努め、水道事業の持続可能な経営を図る。また、水道事業の取組に親しみを感じてもらえるよう広報活動に取り組む。 水道料金の収入により、経営基盤の安定を図り、公平性を確保し安定供給を図る。 	
	概要 (具体的手段・全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> 経常経費の削減(直接実施) 水道事業の取組紹介(直接実施) 広報戦略による ①広報紙の発行 ②水道出前講座 ③水道PRイベントの出展等 業者委託による民間ノウハウの活用(業務委託) 上水道給水契約、検針業務、料金徴収業務等 委託先:フジ地中情報株式会社 大阪支店 	
	令和2年度の事業概略	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道部の組織統合による窓口の一本化及び市民サービスの向上 料金管理事業 広報活動 水道基本料金減免(2ヶ月分) 	令和3年度の事業概略 <ul style="list-style-type: none"> 料金管理事業 広報活動

コスト(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考			
(評価年度は実績、計画年度は予算)											
歳出	総事業費 A+B	2,052,092	1,915,352	1,997,000	1,997,000	1,997,000	1,997,000				
	直接事業費A	1,917,780	1,801,092	1,882,740	1,882,740	1,882,740	1,882,740				
	総人件費計(E+H) B	134,312	114,260	114,260	114,260	114,260	114,260				
	職員従事者数(人・年) C	17.88	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00				
	【平均人件費】D	7,400	7,460	7,460	7,460	7,460	7,460				
	人件費 E=C×D	132,312	111,900	111,900	111,900	111,900	111,900				
	会計年度任用職員従事者数(人・年) F	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00				
	【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,360	2,360	2,360				
人件費 H=F×G	2,000	2,360	2,360	2,360	2,360	2,360					
歳入	特定財源	1,895,123	1,876,918	1,805,000	1,805,000	1,805,000	1,805,000				
	国・県支出金	0	85,149	0	0	0	0				
	借入金(地方債)	0	0	0	0	0	0				
	受益者負担金	1,387,572	1,309,131	1,360,000	1,360,000	1,360,000	1,360,000				
	その他特財	507,551	482,638	445,000	445,000	445,000	445,000				
一般財源	156,969	38,434	192,000	192,000	192,000	192,000					
実施 (DO)	指標名		単位	目標実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
	成果	経常収支比率	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
				実績	95.5	98.0					
	成果	水道事業の有収率	%	目標	80.0	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	
				実績	77.0	78.8					
	活動	広報発行及びHP掲載回数	回	目標	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	
				実績	28.0	31.0					
	コスト	給水人口一人当たりの費用	千円/人	目標	34.2	34.3	32.2	30.9	30.7	30.6	
				実績	32.2	30.6					
	コスト			目標							
実績											
指標の推移等の背景・分析		<ul style="list-style-type: none"> 収益においては、人口減少による給水収益の減少傾向が続いており、費用においても機械設備の故障や漏水等の多発により、水道施設の維持管理について多額の費用が計上されている。 令和2年度においては、成果やコストの数値に回復が見られる。 									

事務事業名	水道経営事業		
事業担当課	上下水道部 経営管理課	事業期間	平成 16 ~ 無期 年度

評価 (CHECK)	事務事業全体の実施 (DO) に対する、事務事業の展開の評価・課題について				
	評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	市民生活にとって最も重要なライフラインである安全・安心な水道水の供給は必要不可欠であり、より安定的かつ効果的な事業の運営が求められる。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	A	・資産運用を適切に行うことにより、収益の増加に努めている。 ・コロナ禍の市民の負担を軽減するため、国の交付金を活用し、2箇月の水道基本料免除を行った。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	施設の老朽化により、機械設備の修繕や漏水による緊急工事など、多くの経費が掛かっており水道料金だけでは賄うことが厳しい状況が続いている。突発的な断水や水不足に対応できるよう、市内全域での水融通が図れるよう管路整備が必要。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	A	・使用水量に応じて料金の賦課・徴収を行っており公平性を保っている。 ・令和元年度より、設計審査手数料と工事検査手数料を見直し、適切な経費を徴収している。

改革 (ACTION)	総合的な評価と課題 (成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など)				
	<p>・水道施設の長寿命化計画・管路更新計画に基づき、計画的に施設の更新を行い、費用の平準化を図りながら効果的な事業運営に努め、持続可能な経営を目指す必要がある。</p> <p>・地方部特有の施設維持管理には料金収入のみでは限界があり、収益につながる対策を講じる必要がある。</p>				
今後の方向性・改善策等			成果・コストの方向性		
人口減少や節水機器の普及による水道使用量の減少が続中、安定した経営を継続するため一般会計からの操出基準は、継続的な協議が必要である。			成果の方向性 皆減 縮小 現状維持 拡大 拡大 現状維持 縮小 休廃止	皆減 縮小 現状維持 拡大	
				皆減 縮小 現状維持 拡大	
				皆減 縮小 現状維持 拡大	
				皆減 縮小 現状維持 拡大	
			コスト投入の方向性		

●構成する予算小事業一覧

(単位：千円)

No.	予算小事業	コスト (評価年度は実績、計画年度は予算)					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	水道経営事業	1,801,092	1,882,740	1,882,740	1,882,740	1,882,740	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
合計		1,801,092	1,882,740	1,882,740	1,882,740	1,882,740	